

平成16年度実績評価 事務事業進行管理表

事務事業名	子育てネットワーク支援事業			財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目
部等名	教育委員会	課等名	公民館	内線	4210					
政策体系上の位置付け	政策	元気な子供が育つ地育力のあるまちづくり			関連計画、条例等	飯田市民館基本方針及び重点目標 児童課「すくすくプラン」				
	施策	子育ての楽しさを実感できる環境づくり								
	基本事業									
事業区分	経常事業	新規、継続区分	継続							
事業期間	7年度	～	年度	環境調整会議の必要性	なし					

【D0】(1)この事務事業は、次の目的を達成することを旨とします。

目的の記述	対象 (人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値 (実績・現状)			
	・子育てネットワークトライアングル ・子育てグループ ・乳幼児を持つ親子	未就学の乳幼児とその親の数	当初(15)		17年度	8500
16年度			8500			
市内に存在する子育てグループの数		当初(15)		17年度	46	
		16年度	46			
意図 (成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値 (実績・目標)				
・子育てネットワークトライアングルの活動支援を通して、悩みを持ったり交流を望む親子やそのグループをつなげ、交流や学習の機会を多く持つことにより悩みが解消される。	子育てネットワークへ参加するグループの数	当初実績(15)		最終目標		
		16目標	0.5	16実績	0.47	
		17目標	0.5			
	子育てネットワークの活動に参加した親子の数	当初実績(15)		最終目標		
		16目標	1900	16実績	1993	
		17目標	2000			

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容 (やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
		飯田市内で活動する子育てグループ同士を結ぶ子育てネットワーク「トライアングル」の活動の支援を通し、子育てに悩んだり仲間を求める親たちの結びつきを強め、様々な交流や学習活動が活発になることで、地域や生活が豊かになる一助とする。	・市内子育てサークルのネットワークづくりと情報提供活動をおこなっている「トライアングル」の自主的な活動を支える。情報誌「おひさま」の発行 ・サークルリーダー交流会、フリーマーケット ・子育てサロン「おしゃべりサラダ」の支援。 ・子育て講座の実施。 ・子育てマップ編集委員会により多くの子育て中の親に子育て情報を提供する。	登録グループ数
・子育て支援室と連携して事業継続 ・子育てマップの作成			登録グループ数	20グループ

<金額の単位:千円>		16予算額	16決算額	17予算額
事業費	特定国庫支出金			
	特定県支出金			
	起債			
	その他			
	一般財源	260	132	260
事業費計 (A)		260	132	260
人件費	正規職員所要時間	50	50	50
	臨時職員等所要時間	640	640	640
	人件費計 (B)	892	892	892
	トータルコスト A+B	1,152	1,024	1,152
				特定財源内訳

(3)この事業目的の達成は、次の上位(政策や基本事業)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 (この事務事業の上位目的)	上位成果指標(例:施策の成果指標)と単位	上位成果指標の数値			
	・子育てネットワークの活動に参加したことで、子育てへの自信を持つようになった親が増える。	活動に参加して悩みが軽くなり、子育てを楽しむことができるようになった親の割合	16目標	0.8	16実績	0.8
17目標			0.8			
子どもを健全に育てる地域環境が必要であると感じ、活動に参加した親の割合		16目標	25	16実績	80	
		17目標	80			

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
当初市公民館として子育て講座を主催。受講者OBが、後輩世代の親たちの力になりたいと考え、子育てネットワークが誕生。子育て中の親たちのグループがつながることで、地域で子どもが健全に育つ環境づくりに結びつくと考え、平成7年、支援事業を始めた。	飯田市でも不登校の増加や、児童・生徒の荒れ、若者たちの孤立化など若年層の問題は広がりと深まりをみせている。乳幼児期からの子どもの育ち方が根本的な解決につながることから、子どもたちの問題を考える必要が増加している。	トライアングルの活動のまとめともいえる情報誌「おひさま」は、参加グループの他に公民館・図書館・小児科医・産婦人科医・乳幼児検診時などに、計1500部置かれている。内容に対する評価は高く、反響も大きい。情報誌を通してグループに参加する親子も少なくない。

【 See (16年度の事業評価) 】

目的 妥当性 評価	意図の達成が、結果に結びつくか	(評価)	結びつく	(その理由)	成果(達成度)を向上させる余地はあるか?	(評価)	余地がある	(その理由)	
		(評価)	必要性がない	(その理由)		(評価)	影響あり	(その理由)	
目的 妥当性 評価	対象の見直し、拡大、縮小の必要性は?	(評価)	必要性がない	(その理由)	有効性評価	廃止・休止した場合の影響は?	(評価)	可能	(類似事業名、理由)
		(評価)	必要ある	(その理由)			(評価)	不可能	(その理由)
目的 妥当性 評価	意図の見直しの必要性は?	(評価)	必要がある	(その理由)	効率性評価	成果を下げずに、事業費・人件費の削減は?	(評価)	妥当である	(その理由)
		(評価)	必要がない	(その理由)			(評価)	不可能	(その理由)
目的 妥当性 評価	市が関与する必要性は?	(評価)	必要がある	(その理由)	公平性評価	受益者は誰か? 負担の是非、程度は妥当か?	(評価)	妥当である	(その理由)
		(評価)	必要がない	(その理由)			(評価)	不可能	(その理由)

【 Plan(改革改善案) 】

今後の事業の方向性	事業の方向性の具体化 (何を、いつまでにどうするか)の改革改善案	改革改善案実施の課題と克服方法
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	新すくすくプランに基づき、全市的に子育て支援のための「乳幼児学級」に取り組んでいるので「乳幼児教育事業」に統合する。	
時期(年度) <input type="text" value="18"/>		